

兵庫 県  
保険 医 協 会

西宮 芦屋  
支部 ニュース

No. 282

2010・2・15

〒662  
-0074

発行

兵庫 県 保 険 医 協 会  
西宮市石劔町十八ー八  
連絡先 兵庫 県 保 険 医 協 会

西宮・芦屋支部  
大森内科医院内

電話 〇七八(三九三)一八〇一

# 市民ら170人が 大震災15年を振り返る

西宮・芦屋支部は16日、西宮市立勤労会館で、協会と共催の「阪神・淡路大震災15年の集い」を開催、170人が参加した。集いでは、被災者のその後の生活や、災害に対する生活の備え、災害時の医療機関の取り組みや役割などについて、市民と医療関係者らが交流。病気の悩みなんでも相談コーナーや、救急処置・心肺蘇生実習コーナー、災害・復興の記録展示が行われたほか、ソプラノ歌手やピアノ演奏、地元小学生の朗読などによる追悼の歌や、二胡の演奏が行われた。総合同会は元看護ボランティアで国立看護大学校教官の阿部由香さんが務めた。

大ホールで行われた震災の「おはなし」では、実行委員長を務めた大森公一支部長からの開会のあいさつの後、土山雅人先生（西宮・つちやま内科クリニック院長）の司会で、日本福祉大学の金持伸子名誉教授、関西学院大学の室崎益輝教授、県災害医療センター顧問の鶴飼卓先生が講演した。



大ホールでの「おはなし」で講師を務めた金持先生(右)、室崎先生(中央)、鶴飼先生(左)

開会あいさつをする大森先生



震災の被災者の方々へ追悼の歌を捧げる長谷川さん(右)、久保田さん(中央)、榊原さん(左)

金持先生は西宮市内の仮設住宅入居世帯の生活を調査から経済不況の下で大震災の影響が特に自営業者や中小零細企業で働く経済的弱者の間で広がっていると報告した。

室崎先生は震災の教訓として、大きな災害には減災が必要と説明。応急主義から脱皮し事前対応や復興対応に力を入れることや減災のための様々な手立てを生活を通して地域のなかで融合すること、人間関係づくりによる減災などを強調した。

鶴飼先生は阪神大震災では傷病者のヘリコプター搬送の少なさや転院搬送が円滑でなかったことなどによって、多くの「避けられる死」があったと指摘。その教訓からDMAT (Disaster Medical Assistance Team 災害派遣医療チーム)の整備など、日本の災害医療は阪神大震災に比べて格段によくなったとした。

「ボランティア・医療関係者の集い」では、震災時に協会の震災対策緊急本部となった西宮市の広川内科クリニックに、全国からボランティアが集まった医療関係者や名塩の仮設住宅で暮らしていた市民らが集まり、広川恵一先生の司会で、15年前の震災当時を振り返りながら旧交を温めた。

京都中野区医師会の中村洋一先生は、震災を教訓にして作成した「中野区医師

会災害時医療対策マニュアル」の内容と、中野区での災害対策の取り組みについて報告した。

追悼の歌では、ソプラノ歌手の長谷川真弓さんが、ピアノの榊原契保さんの伴奏で追悼の歌として「アヴェマリア」を熱唱。また仁川小学校・久保田侑里さんの詩の朗読にあわせ、「はなれていても友達だよ」を披露した。

二胡演奏者の劉揚さんは、15年前に被災地で二胡のコンサートを行ったエピソードを紹介しながら、「涙そうそう」などの曲を演奏。また長谷川さんとのコラボレーションで「蘇州夜曲」「小さな空」も披露した。

救急処置・心肺蘇生(AED)実習コーナーでは、高田耕二先生(灘区・金沢病院)と木村優美さん(西宮・広川内科クリニック看護師)が実際に人形や練習用AEDを用いて、市民らに緊急時の救急蘇生法について実践的な説明を行った。

(裏面へつづく)



救急処置・心肺蘇生について説明を行う高田先生



震災当時のボランティアや医療関係者が多数かけた



中野区の取り組みを紹介する中村先生



講師の方々とお鍋を囲み、一年間の労をねぎらって乾杯

12月29日、「木曾路・西宮店」で、毎年恒例の会員忘年会を開催、17人が参加した。

# 講師も交えざつくばらんに

## 会員忘年会

今回の会員忘年会には、Medical EnglishのRobert Conroy氏、医療過誤訴訟セミナーの鶴飼万貴子弁護士(大阪・米田泰邦法律事務所)、レセプト電子送信問題研究会の田中慎一氏、胸部X P読影会の原秀樹先生(尼崎・はら内科クリニック)など、日ごろより西宮・芦屋支部の研究会で講師を務めている方々も参加された。  
幸原久先生の乾杯の発声と、支部長の長森公一先生よりのあいさつの後、岩下敬正先生(西宮・岩下内科クリニック)の司会で、会員の先生と講師の方々が一年間の支部活動などについて、お酒を交えざつくばらんに語り合った。



長谷川さん(左)のソプラノと、劉さん(右)の二胡、榊原さん(中央)のピアノがコラボレーションした

(表面よりつづき)  
病気の悩みなんでも相談コーナーでは、支部長の長森先生(西宮・大森内科医院)、幸原久先生(芦屋・幸原小児科・内科医院)、林田英隆先生(西宮・林田クリニック)が医科、加藤隆久先生(西宮・加藤歯科医院)が歯科、滝本桂子先生(尼崎・リベルファーマシー)が介護保険、長光由紀先生(伊丹・ウイング調剤薬局)が薬剤について担当し、参加した市民からの健康相談などに応じた。  
また、災害・復興の記録展示では、元名塩仮設住宅連絡協議会代表の北田昭三さんが提供した、名塩仮設住宅の歴史に関する資料や、再生紙を利用した筆立て、



北田さんが提供した筆立て、24面体サイコロ

24面体サイコロが展示されたほか、震災当時の映像などがスライドで上映された。

## 世話人会だより

西宮・芦屋支部は1月22日(金)に西宮医療会館で世話人会を開催した。出席は9人。

### 【報告】

- ① 会員忘年会(12・29)
- ② 阪神・淡路大震災15年の集い(1・16)
- 【予定・企画】
- ① レセプト電子送信問題研究会(1・23)
- ② 第6回胸部X P読影会(1・29)
- ③ 英語で診療 #25(3・12)
- ④ 第23回在宅医療研究会(3・13)
- ⑤ 診療報酬改定研究会(医科)(3・25)
- ⑥ 第24回在宅医療研究会
- ⑦ 英語で診療 #26
- ⑧ 病診連携、勤務医と開業医の懇談会
- ⑨ 第30回支部総会

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

### 診療報酬改定研究会

**【歯科】**  
日時：3月22日(月・祝) 14時～16時  
会場：西宮市立勤労会館 4階第8会議室

**【医科】**  
日時：3月25日(木) 14時～16時  
会場：西宮市立勤労会館 大ホール

※上記以外の日程でも、各地域で開催しております。詳細は協会歯科部会または研究部会までお問い合わせ下さい。

### 第23回在宅医療研究会

日時：3月13日(土) 15時～17時半  
会場：西宮神社会館2階 TEL0798-23-3311  
講演：「認知症に対する摂食・嚥下リハ」  
大阪大学歯学部付属病院 顎口腔機能治療部助教  
野原 幹司 先生

「在宅における栄養管理  
～嚥下食を中心として～」  
武庫川女子大学生生活環境学部 食物栄養学科准教授  
前田 佳予子 先生

司会：つちやま内科クリニック 土山 雅人 先生

### 英語で診療 Medical English #25

【日時】 3月12日(金) 14時～15時半  
【会場】 西宮医療会館1階会議室  
【テーマ】 「関節リウマチ&骨粗鬆症」  
【講師】 Com Language School  
Mr. Robert Conroy

【司会】 ビューハイッククリニック(西宮)  
坂尾 福光 先生

【アドバイザー】 かにえ整形外科(西宮)  
蟹江 純一 先生